

R5年11月26日（日）・29日（水）

# 「大地の再生講座」 @吉野運動公園

## 実施しました

### 大地の再生とは？

風の動きにならって草刈りや剪定をしたり、地中に穴を開けたりして、水・空気の流れを改善する手法です。草木が元気になる、人にも心地よい環境づくりをめざし、子どもから大人まで、できる人ができる作業をします。吉野運動公園では、土が固く、木の成長不良が懸念されていたため、今回、初めて実施しました。

### 2日間で17名(のべ29人)以上が参加



講師は、大地園芸代表、大地の再生士の兼田 汰知（かねだいち）さん。

2日間で、基本的な考え方や視点、環境改善の方法を、感覚をたくさん使って学びました。

29日（水）の夕方には吉野の放課後子ども教室のみなさんも一緒に、「点穴」（てんあな）を作りました。

27日（月）・28日（火）は地域おこし協力隊の研修として高木の剪定をしました。この時出た枝も、点穴作業などに使用しています。

## 空気と水の流れを改善するために、やったこと

吉野川側の植え込み

場所

入って右の植え込み

地面に空気が入るよう  
「点穴」づくり



土が固い  
～！



枝や炭を  
入れて

てんあな  
完成！

「風の剪定」で  
風通し改善



枝葉

風通しよくなるように～。ノコガマ、ノコギリなどで、たいたりしながら。

むき出しの地面を  
枝葉や炭でカバー

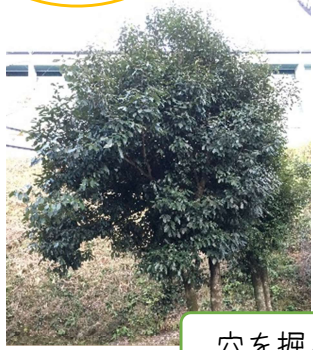


厚すぎても風を通さないので注意しつつ…



ウラ  
面へ

# 公園のこれまでと、これからのイメージ



間延びしたり詰まりすぎた枝葉。太い枝を切ったことや、根の酸素不足が要因。

穴を掘ると...



酸素の多い表層に根が集中。



灰色の無酸素の土壌が出現！  
有機ガスのツンとした匂いも。



落ち葉や草がなく、土がむき出し。根が浮き出ている。

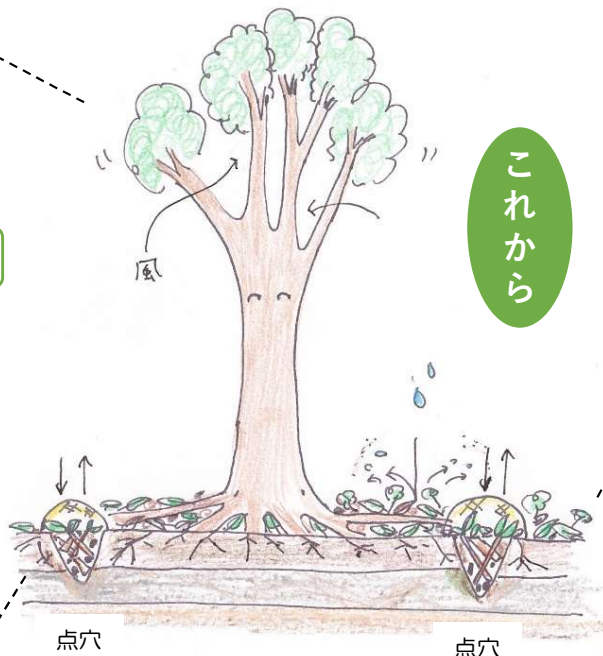


雨水で泥が飛び、木の幹に付着。泥はホコリとなり、移動先で空気を遮断する要因に。雨水で土はさらに固くなる。



「風の剪定」で風通しを良くしながら、新しい枝を育てる。

点穴の中身

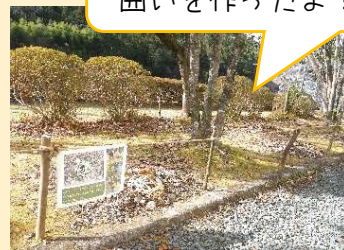


グラウンドカバーをすることで、雨水や踏み固めから地面を守る。



点穴の中にある枝葉や炭によって、土の中の酸素が増える。少しずつ、根は深く伸びるようになる。

剪定した枝で、囲いを作ったよ！



来年も継続します。一緒に見守ってくださいね。

## お問合せ

本山町まちづくり推進課 産業振興班 0887-76-3916

本山町教育委員会 社会教育班 0887-76-2084